

平成17年9月30日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社  
 代表取締役会長兼社長 原田 泳幸  
 (コード番号 2702)  
 問い合わせ先 IRグループ部長 辻 了介  
 TEL 03-6911-6000

## 「平成17年12月期 中間決算短信(連結)」の一部修正について

平成17年8月9日に公表いたしました、「平成17年12月期 中間決算短信(連結)」につきまして、8月1日より新勤務時間管理方式を導入したこと等に伴い、一部修正を要する箇所がありましたので、お知らせいたします。尚、修正部分には下線を付しております。

記

### 1ページ

#### 1. 平成17年6月中間期の連結業績(平成17年1月1日～平成17年6月30日)

##### (1)連結経営成績

(修正前)

(百万円未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年6月中間期	157,627 (5.3)	840 (68.3)	589 (77.4)

  

	中間(当期)純利益	1株当たり中間(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益
	百万円 %	円 銭	円 銭
17年6月中間期	474 (57.5)	3 57	-

(修正後)

(百万円未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益又は経常損失( )
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年6月中間期	157,627 (5.3)	217 (91.8)	33 ( - )

  

	中間(当期)純利益又は中間純損失( )	1株当たり中間(当期)純利益又は1株当たり中間純損失( )	潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益
	百万円 %	円 銭	円 銭
17年6月中間期	701 ( - )	5 28	-

##### (2)連結財政状態

(修正前)

(百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年6月中間期	182,629	136,155	74.6	1,024 04

(修正後)

(百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年6月中間期	183,480	134,979	73.6	1,015 19

## 6 ページ

### 3. 経営成績及び財政状態

#### (1) 経営成績

(当社グループ全体の経営成績)

#### (修正前)

当連結会計年度に入り日本経済は回復の兆しを見せておりますが、外食産業は全体的に縮小傾向にあり、原油高騰や食の安全性をめぐる問題も解決にいたらず、依然、厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、引き続きハンバーガーレストラン事業に経営資源を集中する施策を進めております。当中間連結会計期間の業績は連結売上高が1,576億27百万円で前年同期比79億70百万円の増加(5.3%増)となりました。利益面につきましては、当中間連結経常利益は5億89百万円で前年同期比20億21百万円の減少(77.4%減)となりました。また、店舗移転補償金2億32百万円等を特別利益に計上した結果、税金等調整前中間純利益は8億39百万円で前年同期比11億93百万円の減少(58.7%減)、当中間連結純利益は4億74百万円で前年同期比6億42百万円の減少(57.5%減)となりました。

#### (修正後)

当連結会計年度に入り日本経済は回復の兆しを見せておりますが、外食産業は全体的に縮小傾向にあり、原油高騰や食の安全性をめぐる問題も解決にいたらず、依然、厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、引き続きハンバーガーレストラン事業に経営資源を集中する施策を進めております。当中間連結会計期間の業績は連結売上高が1,576億27百万円で前年同期比79億70百万円の増加(5.3%増)となりました。利益面につきましては、当中間連結経常損失は33百万円で前年同期比26億44百万円の減少となりました。これは新勤務時間管理方式を導入したことによる人件費の増加分9億6百万円を売上原価及び一般管理費に計上したこと等によるものです。また、店舗移転補償金2億32百万円等を特別利益に計上し、新勤務時間管理方式の導入に伴う平成15年、16年度分の人件費11億43百万円を特別損失に計上した結果、税金等調整前中間純損失11億86百万円で前年同期比32億20百万円の減少、当中間連結純損失は7億1百万円で前年同期比18億18百万円の減少となりました。

## 8 ページ

### (2) 財政状態

(キャッシュ・フローの状況)

#### (修正前)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は38億67百万円(前年同期は83億10百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が前年同期比11億94百万円減少の8億39百万円となったものの、その他の資産の増減額の増加により前年同期比11億87百万円の収入及びその他の負債の増減額の減少により前年同期比14億85百万円の収入となったためであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成16年6月中間期	平成16年12月期	平成17年6月中間期
自己資本比率(%)	72.2	73.4	74.6
時価ベースの自己資本比率(%)	159.5	153.6	164.2

#### (修正後)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は38億67百万円(前年同期は83億10百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失が11億86百万円(前年同期は20億33百万円の税金等調整前中間純利益)となったものの、その他の資産の増減額の増加により前年同期比11億87百万円の収入増及びその他の負債の増減額の減少により前年同期比35億10百万円の収入増となったためであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成16年6月中間期	平成16年12月期	平成17年6月中間期
自己資本比率(%)	72.2	73.4	<b>73.6</b>
時価ベースの自己資本比率(%)	159.5	153.6	<b>163.4</b>

## 11～12ページ

4. 中間連結財務諸表等  
(1) 中間連結貸借対照表

(修正前)

区分	注記 番号	当中間連結会計期間末 (平成17年6月30日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)			
流動資産			
⋮			
5. 繰延税金資産			576
⋮			
流動資産合計			21,214 11.6
固定資産			
1. 有形固定資産			
⋮			
(5) 建設仮勘定	218	68,299	37.4
2. 無形固定資産		4,883	2.7
3. 投資その他の資産			
⋮			
貸倒引当金	1,118	88,231	48.3
固定資産合計		161,415	88.4
資産合計		182,629	100.0
(負債の部)			
流動負債			
⋮			
4. 未払金		9,212	
5. 未払法人税等		387	
⋮			
流動負債合計		43,745	24.0
固定負債			
固定負債合計		2,728	1.4
負債合計		46,474	25.4
(資本の部)			
資本金		24,113	13.2
資本剰余金		42,124	23.1
利益剰余金		69,246	37.9
土地再評価差額金		2,806	1.5
その他有価証券評価差額金		3,478	1.9
自己株式		0	0.0
資本合計		136,155	74.6
負債及び資本合計		182,629	100.0

(修正後)

注記 番号	当中間連結会計期間末 (平成17年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)
		1,427
		22,065 12.0
	218	68,299 37.2
		4,883 2.7
	1,118	88,231 48.1
		161,415 88.0
		183,480 100.0
		11,522
		104
		45,772 24.9
		2,728 1.5
		48,500 26.4
		24,113 13.1
		42,124 23.0
		68,070 37.1
		2,806 1.5
		3,478 1.9
		0 0.0
		134,979 73.6
		183,480 100.0

## 13ページ

## (2) 中間連結損益計算書

		(修正前)			(修正後)			
		当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)			当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)			
区分	注記 番号	金額(百万円)		百分比 (%)	注記 番号	金額(百万円)		百分比 (%)
売上高			149,656	100.0			149,656	100.0
売上原価			139,327	88.4			<u>139,948</u>	<u>88.8</u>
売上総利益			18,300	11.6			<u>17,678</u>	<u>11.2</u>
販売費及び一般管理費			17,459	11.1			<u>17,461</u>	<u>11.1</u>
営業利益			840	0.5			<u>217</u>	<u>0.1</u>
経常利益又は経常損失( )			589	0.4			<u>33</u>	<u>0.0</u>
⋮								
特別損失								
1. 固定資産除却損		39				39		
<b>2. 新勤務時間管理方式の導入に伴う損失</b>		-			<u>4</u>	<u>1,403</u>		
<b>3. 鳥インフルエンザ及びBSEに伴う損失</b>	4	-			<u>5</u>	-		
<b>4. その他</b>		-	39	0.1		-	<u>1,442</u>	<u>0.9</u>
税金等調整前中間(当期)純利益又は税金等調整前中間純損失( )			839	0.5			<u>1,186</u>	<u>0.7</u>
法人税、住民税及び事業税		40				40		
法人税等調整額		325	365	0.2		<u>525</u>	<u>485</u>	<u>0.3</u>
中間(当期)純利益又は中間純損失( )			474	0.3			<u>701</u>	<u>0.4</u>

## 14ページ

## (3) 中間連結剰余金計算書

		(修正前)		(修正後)	
		当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		注記 番号	金額(百万円)
⋮					
(利益剰余金の部)					
利益剰余金増加高					
中間(当期)純利益		474	474	-	-
利益剰余金減少高					
<b>中間(当期)純損失</b>		-		<u>701</u>	
配当金		3,988		3,988	
再評価差額金取崩額		-	3,988	-	<u>4,690</u>
利益剰余金中間期末(期末)残高			69,246		<u>68,070</u>

15ページ

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(修正前)			(修正後)	
		当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)
区分	注記 番号	金額(百万円)	注記 番号	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー 税金等調整前中間(当期)純利益又は <b>税金等調整前中間純損失( )</b>		839		<u>1,186</u>
⋮				
その他負債の増減額(減少: )		2,088		<u>62</u>

22ページ

注記事項

(中間連結損益計算書関係)

(修正前)		(修正後)	
	当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)
1		1	
(3) 給与手当	2,501	(3) 給与手当	<u>2,526</u>
2		2	
3 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。		3 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。	
	(百万円)		(百万円)
建物及び構築物	9	<b>建物及び構築物</b>	<u>23</u>
機械及び装置	15	機械及び装置	15
工具器具及び備品	13	<b>工具器具及び備品</b>	<u>0</u>
ソフトウェア	-	計	<u>39</u>
計	<u>39</u>		
4		4	
		<b>4 特別損失に計上しております「新勤務時間管理方式の導入に伴う損失」は、当社子会社である日本マクドナルド株式会社の直営店舗・本社本部アルバイトスタッフの賃金および社員の所定外勤務手当計算の算定基準となる勤務時間の把握方法を30分単位から1分単位に変更したことに伴い、発生した損失であります。内容は次のとおりであります。</b>	
			(百万円)
		過年度未払賃金	<u>1,303</u>
		コールセンター設置費用	<u>100</u>
		計	<u>1,403</u>
		5	

27ページ

(1株当たり情報)

(修正前)

当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)	
1株当たり純資産額	1024.04 円
1株当たり中間純利益金額	3.57 円
同左	

(修正後)

当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)	
1株当たり純資産額	1015.19 円
1株当たり中間純損失金額	5.28 円
<p><b>尚、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、1株当たり中間純損失のため記載していません。</b></p>	

(注) 1株当たり中間(当期)純利益金額又は1株当たり中間純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(修正前)

当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)	
中間(当期)純利益又は中間純損失( ) (百万円)	474
⋮	
普通株式に係る中間(当期)純利益又は普通株式に係る中間純損失( ) (百万円)	474

(修正後)

当中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日) (至 平成17年6月30日)	
	701
	701

28ページ

(重要な後発事象)

削除